**まちかど　223号　令和6年8月発行号　表面　音声案内**

地域情報紙名 街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙　まちかど　荏原第一地域新聞

発行事務局　　荏原第一地域センター

事務局住所　　小山３丁目１４番１号

電話番号　　　３７８６－２０００

FAX　　　　　 ３７８６－５３８５

各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号のまちかどは令和6年10月発行予定です。まちかどカラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。

紙面のQRコードよりアクセス可能です。

**紙面右上部掲載記事　題名　区民まつり**

**写真掲載有　区民まつり当日の様子**

**記事内容**7月13日土曜日の午後2時から午後8時に、スクエア荏原にて荏原第一地区の品川区民まつりが行われました。当日は開会式で森澤区長、河野実行委員長とスクエア荏原の島袋館長の挨拶から始まり、8千人以上の来場で大変賑わいました。夕方から小雨もありましたけれど開催できて良かったです。

わが荏原二丁目町会はかき氷とホットドッグのお店を出しました。とても蒸し暑い1日だったので、かき氷は大行列でした。かき氷は何回もやって勝手がわかっていましたが、ホットドッグは初めてなので手順がわからず、慣れるまで大変でした。完売した時には嬉しかったです。どちらも容器はプラではなく紙にして環境に気を遣いました。盆踊りは太鼓の叩き手の皆さんの生演奏の中、大勢の人達が輪になって楽しみました。

　今回は、会場にてＬＩＮＥ登録をしていただき、これからの町会の発展のために行事への参加を呼びかけていくという新しい企画を試みました。

**記事作成者**　荏原二丁目　伊藤　茂実

**紙面中央部掲載記事　題名　どうぞよろしく　新町会長紹介**

**写真掲載有　小山五丁目町会　松井　清一会長の写真**

**記事内容**　出身地　小山五丁目、趣味　仕事とゴルフとアゲハ飼育、一言　最近感じる事は、人と人との繋がりが希薄になっていることです。家族構成も昭和、平成、令和と変化して独り住まいの方が増えています。それでも地域の行事、たとえばお祭りやラジオ体操などはたくさんの子供たちが参加してくれます。私もこの地域で生まれ育ち、色々な経験をさせてもらいました。町会は地域の繋がりを育てるコーディネーターだと思っています。今後30年の間に70パーセントの確率で首都直下型地震が起こると予想されています。そんな時、自助、共助は普段の繋がりから自身の身を守ります。若輩者ですが少しでも地域に恩返しができればと思いますので、よろしくお願いいたします。

**記事作成者　小山五丁目町会　会長**　**松井　清一**

**紙面左下掲載記事　題名　畳の昔と今・未来へ**

**写真掲載有　寺社仏閣用の紋べりの写真**

**記事内容**畳は日本で利用されている伝統的な床材です。芯材になる板状の畳床の表面に井草で織って作った敷物状の畳表を張り付けて作ります。畳床は稲作の副産物である稲わらを乾燥させ、強く圧縮して縫い止め、厚さ5センチ程度の板状に加工する製法でわら床と呼ばれます。縁には畳表を止めるためと装飾を兼ねて、畳べりと呼ばれる帯状の布を縫い付けています。一部には縁のない畳もあります。古代の畳は、むしろ、ござ、こもなどの薄い敷物の総称でした。室町時代に入ると茶道の拡大に伴い、正座と共に厚みのある畳が普及しました。小山四丁目には昔ながらの畳店があります。三代目の加藤誠さんに昨今の畳事情を伺いました。20代前半頃は仕事を覚えるため、全ての工程を手縫いで製作。手縫いは非常に手間と時間がかかるが、経年後の形崩れが少なく、きれいな状態を長く保てる。最近は機械と手縫いでの製作で、素材も様々に。畳表も井草だけではなく、和紙で出来た表を使うようになったり、畳床部分のわらの間に発泡スチロールを挟んだスタイロ畳が登場し、主流になってきた。畳職人としては住宅スタイルの変化によって、和室が少なくなっている事が少し寂しい。という貴重なお話を伺いました。

　畳の特徴は高い断熱性と保温性にあります。さらに優れた吸湿能力もあり、適度な弾力で座り心地も良いです。また、自然の優しい色や匂いでリラックス効果があると言われています。今後、環境や健康の点からも、畳のよき見直しが必要になることに期待します

**記事作成者**　小山四丁目　東　美佐栄

**紙面左上掲載記事　題名　花めぐり　アサガオ**

**写真掲載有　アサガオの写真　令和6年7月 小山二丁目で撮影**

**記事内容**7月は七夕の頃、恐れ入谷の鬼子母神、と洒落言葉でも知られる入谷鬼子母神（真源寺）を中心に朝顔業者や露店が並ぶ、朝顔まつり、朝顔市が朝早くから開かれて多くの人で賑わいます。

アサガオは奈良時代に薬用として伝来したと言われています。やがて観賞用として栽培されるようになり、江戸時代には品種改良により青一色だったアサガオも多色になり多くの変化アサガオも栽培されました。一大ブームとなったアサガオ栽培は品評会も開かれ番付表が作られたり、浮世絵の題材にもなったようです。

東野圭吾の夢幻花（ＰＨＰ文芸文庫）では、黄色いアサガオを巡って事件が起こります。今では見られない黄色いアサガオも江戸時代には存在していたようです。

花言葉は淡い恋、愛情、結束など。

**記事作成者**小山一丁目　河原　マサ江

**紙面右下掲載記事　題名　ラジオ体操　小山三丁目町会**

**写真掲載有　ラジオ体操の様子**

**記事内容**毎年、7月21日から31日まで、町内の朗惺寺の境内をお借りしてラジオ体操を行っています。コロナウイルス感染防止のため3年間中止していましたが昨年から再び開催しました。  
　毎日100名前後の児童、生徒、近隣住民が参加し、朝6時半から始まるＮＨＫの生のラジオ放送に合わせて第二体操まで行います。体操が終わると出席カードにスタンプが押され、ゲーム大会が始まります。ゲームの勝敗により様々な景品がもらえ、全日出席すると皆勤賞ももらえます。つまりラジオ体操とミニゲーム大会がミックスされていて、子供たちにとっての夏休みの楽しい行事になっています。昔から他町会の子供たちも多数参加してくれており、ちょっと自慢のラジオ体操です。  
　この行事は町会の青少年部が主導し、町会役員以外にも小山小学校、後地小学校のＰＴＡの方々や近隣の青少年地区委員の方々に、ジュース配りやゲームの補佐、出入口の交通整理などのお手伝いをして頂いております。毎年ありがとうございます。

**記事作成者**　小山三丁目　会長　飯田　勝久

まちかど　223号　令和6年8月発行号　表面　音声案内終了